

三井住友・メインランド・ チャイナ・オープン

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：メイチャ

2020年7月30日から2021年3月22日まで

第 **17** 期 償還日：2021年3月22日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは中国の取引所上場企業の株式等ならびにマザーファンドに投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。当期についても、運用方針に沿った運用を行い、2021年3月22日に繰上償還となりました。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

償還価額(償還日)	24,648円73銭
純資産総額(償還日)	103百万円
騰落率(当期)	+28.6%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年7月30日から2021年3月22日まで)

基準価額等の推移



※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	19,173円
償還日	24,648円73銭
騰落率	+28.6%

※当ファンドの参考指数は、MSCIチャイナインデックス(円ベース)50%、上海B株インデックス(円ベース)25%、深センB株インデックス(円ベース)25%を組み合わせた合成指数です。

※参考指数を構成する各指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2020年7月30日から2021年3月22日まで)

当ファンドは、主として中国の取引所上場企業の株式等ならびにマザーファンドに投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 11月の米国大統領選で民主党のバイデン氏が勝利し、米国の対中政策が融和的になるとの見方が強まったことや、米国での大型経済対策の成立、春節期間の消費拡大への期待などから、2月中旬にかけて深センB株市場、香港株式市場が上昇したこと
- 通期で米ドル高・円安、香港ドル高・円安が進んだこと

1万口当たりの費用明細(2020年7月30日から2021年3月22日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	243円	1.138%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は21,384円です。
(投信会社)	(137)	(0.640)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(91)	(0.427)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(15)	(0.071)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	65	0.305	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(65)	(0.304)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	31	0.146	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(31)	(0.145)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	84	0.391	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(80)	(0.375)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(3)	(0.012)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(1)	(0.004)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	423	1.980	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

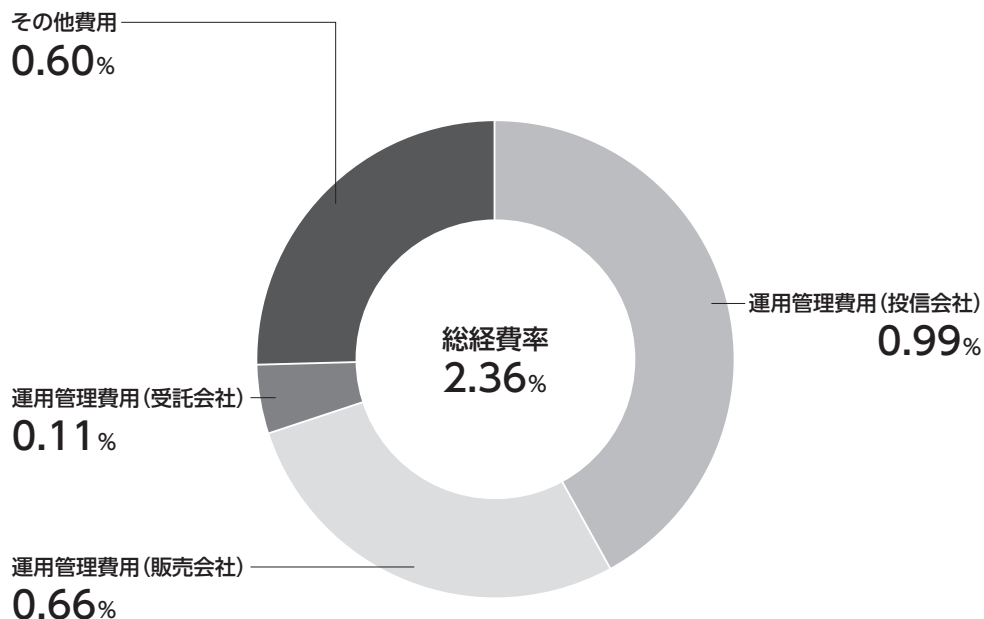
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

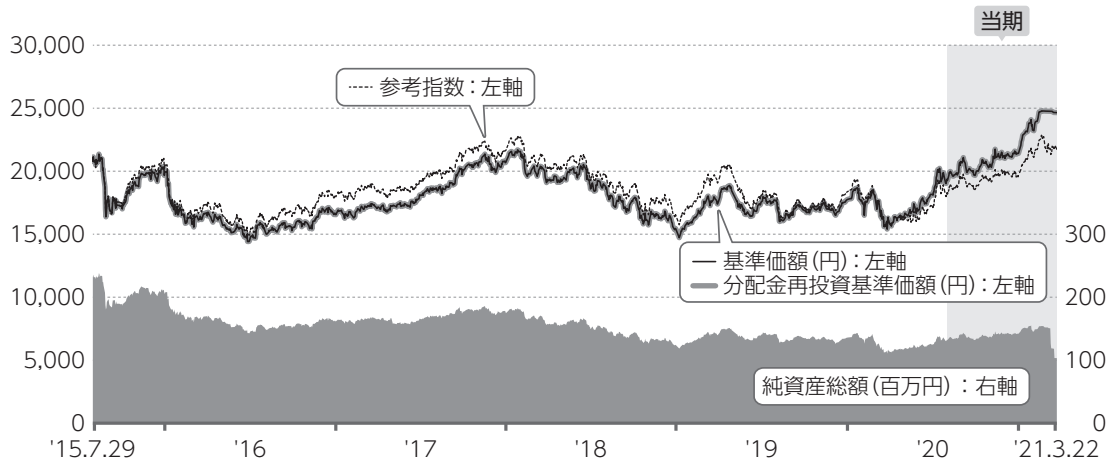
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.36%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2015年7月29日から2021年3月22日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、2015年7月29日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

		2015.7.29 決算日	2016.7.29 決算日	2017.7.31 決算日	2018.7.30 決算日	2019.7.29 決算日	2020.7.29 決算日	2021.3.22 償還日
基準価額	(円)	20,783	15,533	18,568	18,812	17,650	19,173	24,648.73
期間分配金合計(税引前)	(円)	-	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	-	-25.3	19.5	1.3	-6.2	8.6	28.6
参考指数騰落率	(%)	-	-21.9	22.0	-0.5	-7.8	-0.3	20.1
純資産総額	(百万円)	231	153	169	151	141	131	103

※2021年3月22日の「分配金再投資基準価額騰落率」は、2020年7月29日からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

参考指数に関して

※当ファンドの参考指数は、MSCIチャイナインデックス(円ベース)50%、上海B株インデックス(円ベース)25%、深センB株インデックス(円ベース)25%を組み合わせた合成指数です。

※MSCIチャイナインデックスは、香港証券取引所上場の中国株(H株、レッドチップおよびP株)および上海証券取引所または深セン証券取引所上場の中国B株のパフォーマンスに連動する指数で、MSCI Inc.が公表しています。

※上海B株インデックスは、中国の上海証券取引所に上場しているB株(中国ならびに海外の投資家が取引可能)全銘柄で構成される時価総額加重平均型の指数で、上海証券取引所が公表しています。

※深センB株インデックスは、中国の深セン証券取引所に上場しているB株(中国ならびに海外の投資家が取引可能)全銘柄で構成される時価総額加重平均型の指数で、深セン証券取引所が公表しています。

投資環境について(2020年7月30日から2021年3月22日まで)

当期の中国本土B株(上海・深セン)市場、香港株式市場は上昇しました。また、為替市場は米ドル高・円安、香港ドル高・円安となりました。

中国本土B株市場・香港株式市場

当期の中国本土B株市場、香港株式市場は、中国の経済活動正常化への期待や米中対立激化への警戒感などが交錯する中、期初からレンジ内で上下する動きとなりました。11月の米国大統領選で民主党のバイデン氏が勝利すると、米国の対中政策が融和的になるとの見方が強まり、深センB株市場、香港株式市場を中心に上昇しました。また、その後も米国での大型経済対策の成立や春節期間(中国の旧正月、2/11-17の大型連休)の消費拡大への期待が高まり、2月中旬にかけて上昇しました。2月下旬以降は、米国長期金利の上昇を背景に投資家心理が悪化し、インターネット関連など成長株を中心に、期末にかけて軟調となりました。

当期の市場の動きを上海B株インデックス(現地通貨建て)、深センB株インデックス(現地通貨建て)で見ると、期首に比べてそれぞれ3.5%、22.1%の上昇となりました。また、香港上場の中国株を中心に構成されるMSCIチャイナインデックス(現地通貨建て)は、17.9%上昇しました。

為替市場

米ドル・円は、米国で新型コロナウイルスの感染再拡大に対する警戒感が高まる中、金融緩和の長期化観測などから、期初から2021年1月上旬まで米ドル安・円高基調となりました。その後は、米金利の上昇等を受けて米ドル高・円安が進みました。通期では米ドル高・円安となりました。この期間、香港ドル・円も、概ね米ドル・円に沿った動きとなり、通期では香港ドル高・円安となりました。

当期の米ドル・円は、期首105円14銭から期末108円91銭と3円77銭の米ドル高・円安となりました。また、香港ドル・円は、期首13円57銭から期末14円03銭と0円46銭の香港ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて (2020年7月30日から2021年3月22日まで)

当ファンド

当ファンドは、上海および深センB株市場の値動きを反映する「メインランド・ポートフォリオ」(ファンドで直接投資)と、中国国内で事業展開している企業の中から、中長期的な運用視点に基づき、業種毎に競争力の強いエクセレント・カンパニーに厳選して投資する「ニュー・チャイナ・マザーファンド」の2つのポートフォリオにより運用しました。

2月以降は、B株およびニュー・チャイナ・マザーファンドを順次売却し、3月22日のファンド償還日までキャッシュにて運用を行いました。

メインランド・ポートフォリオ

●株式組入比率

運用の基本方針に従い、上海および深センB株市場に上場する銘柄の中から時価総額の上位25銘柄程度を組み入れ、3ヵ月を目処にリバランス(投資配分比率の調整)し、組入銘柄、組入比率の見直しを行いました。

●組入銘柄

上海B株の内蒙古イータイ石炭(エネルギー)、華新セメント(素材)、深センB株の安徽古井(食品・飲料・タバコ)、重慶長安汽車(自動車・自動車部品)など中国を代表する

企業の組入比率を高く維持しました。

ニュー・チャイナ・マザーファンド

●株式組入比率

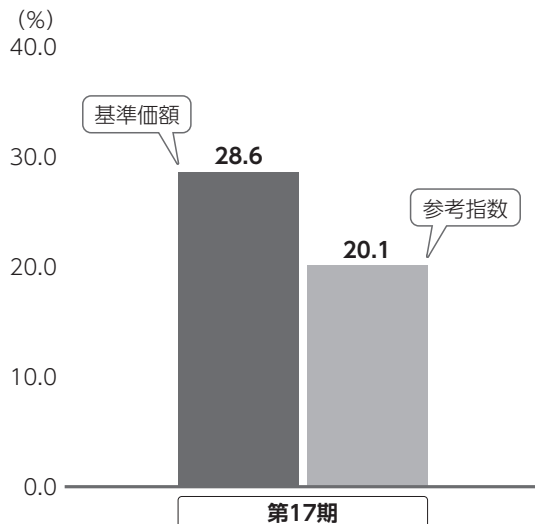
期を通して概ね90%以上の高位を維持し、当ファンドの償還日には92.1%としました。

●組入銘柄

株価水準や業績見通しに応じて、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。具体的には、TALエデュケーション(消費者サービス)やチャイナ・リソーシズ・ビール(食品・飲料・タバコ)、龍湖集団(不動産)などを売却する一方で、新東方教育科技(消費者サービス)やENNエナジー(公益事業)、吉利汽車(自動車・自動車部品)などを組み入れました。また、中長期的な業績見通しが良好なアリババ・ヘルス・インフォメーション・テクノロジー(ヘルスケア機器・サービス)や北京キングソフト・オフィス・ソフトウェア(ソフトウェア・サービス)などの新規組入も行いました。

ベンチマークとの差異について(2020年7月30日から2021年3月22日まで)

基準価額と参考指数の対比(騰落率)



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIチャイナインデックス(円ベース)50%、上海B株インデックス(円ベース)25%、深センB株インデックス(円ベース)25%の合成指数を設けています。左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2020年7月30日から2021年3月22日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

繰上償還について

当ファンドは、信託約款の繰上償還規定の「受益権の口数が5億口を下回る」状態が継続しており、運用の基本方針に従った運用を続けることが困難となったため、信託期間中ではありますが運用を終了させ、お預かりした資産をお返すことが受益者の皆さまにとって有利であると判断し、繰上償還の手続きを実施いたしました。

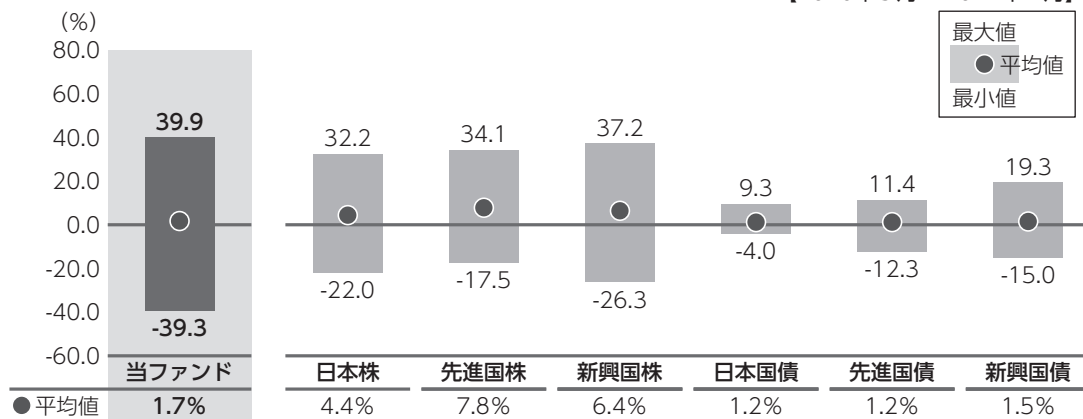
法令および信託約款の規定に従い、2021年2月10日まで異議申立ての受付けを行い、異議申立てされた投資家の皆さまの受益権口数が、公告日現在の受益権総口数の2分の1を超えなかったため、2021年3月22日をもって繰上償還となりました。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	2004年7月30日から2021年3月22日(当初、無期限)まで
運 用 方 針	主として中国の取引所上場企業の株式等ならびにマザーファンドに投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは中国の取引所上場企業の株式等ならびに以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 ニュー・チャイナ・マザーファンド 主として香港市場のほか、中国市場、台湾市場、米国市場等に上場・登録している企業で、かつ主に中国で事業展開している企業の株式
当 フ ァ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ■中国本土の取引所に上場している企業の株式等に投資します。 (メインランド・ポートフォリオ) ・主に上海証券取引所B株市場または深セン証券取引所B株市場に上場している大型株に投資し、B株市場の値動きを概ね反映することを目指します。 ・上海・香港および深セン・香港株式相互取引制度を活用して、上海A株および深センA株に投資することがあります。 ■マザーファンドへの投資を通じて、主として香港市場のほか、中国市場、台湾市場、米国市場等に上場・登録している企業で、かつ主に中国で事業展開している企業に投資します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組 入 制 限	当ファンド <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ニュー・チャイナ・マザーファンド <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年7月29日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の配当等収益と有価証券売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

【2016年3月～2021年2月】



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCI コクサインデックス (グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村証券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

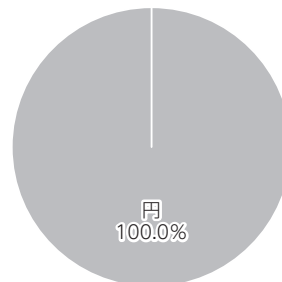
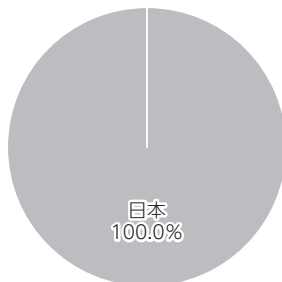
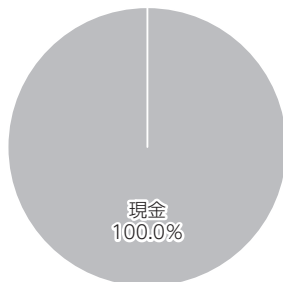
6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容(2021年3月22日)

組入上位10銘柄

※償還日現在の組入れはありません。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	償還日
純資産総額 (円)	103,354,005
受益権総口数 (口)	41,930,761
1万口当たり償還価額 (円)	24,648.73

※当期における、追加設定元本額は0円、解約元本額は26,549,027円です。

7 償還を迎えて

2004年7月30日に設定いたしました当ファンドは、2021年3月22日に償還となりました。皆さまのご愛顧につき、お礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。